

たなかかつこ (pianist/composer)

3歳からヤマハ音楽教室に通う。ロサンジェルスのアナハイム・コンベンションセンターで開催されたJAPAN EXPOでフュージョンバンド「Doppo and AZOTH」のキーボード奏者として出演したことをきっかけにアメリカ生活に興味を抱き、大阪音楽大学器楽科ピアノ専攻を経て国際ロータリー財団国際親善大使として米国カリフォルニア州立大学ロングビーチ校 (CSULB) 音楽学部にクラシックピアノ専攻で留学。

在学中はメアリー・E・イスラエル奨学金、ジャン・ルイス・ブギス奨学金、州助成金レッスン等多くの奨学金を授与され、学外でケイ赤城、Brad Mehldauに師事してジャズの分野で演奏活動を開始。卒業後帰国し、東京で社内翻訳通訳者として働く傍らジャズクラブで演奏を始め、後に地元の関西に拠点を移してオリジナル曲を演奏する自己のピアノトリオや嶋本高之、広瀬未来、河村英樹らとの共演を中心に益々活動の幅を広げる。

2008年に活動の拠点をニューヨークに移し、NY市立大学 (CUNY) Queens College大学院に通いながらRoy Hargrove, Greg Tardy, Joe Sandersらと交流を深め数多くステージを共にする。音楽科修士号取得と同時にDanton Boller (bass), Willie Jones III (drums)、ゲストにAntonio Hart (alto saxophone)を迎えてオリジナル曲を収録、デビューアルバム「Beyond Intersection (ビヨンド・インターセクション)」を2010年5月にリリース。以降、Victor Lewis, Lonnie Plaxico, Willie Jones IIIといった国際的トップミュージシャンをメンバーに組み入れてニューヨークを拠点にJazz at Kitano, Mezzrow, Fat Cat, Zinc Bar等で定期的にリーダーバンド演奏を行っている。日本では2011年と、2016～2019年の帰国ツアーで安カ川大樹、ジーン・ジャクソンのトリオ演奏で好評を博す。また、2013年にはE.ハーレムのコンサートホールにて、NY市の助成金による小中学生120人を対象にするジャズ・ワークショップに自己のクインテットで招聘されたほか、2017年には母校の大阪音楽大学で特別講義を行うなど、教育者としても信頼が厚く評判が高い。

ジャズ以外の分野では、アフロ・ラテンバンドや黒人教会でゴスペル音楽のレギュラーピアニストを務めた。また多岐に亘る音楽経験とコミュニケー

ション能力により、ブロードウェイミュージカルの主演女優や、ドレスデン国立劇場の監督を務めるOlga Kostritzky氏、NYシティバレエ団 (NYCB) のプリンシパル・ダンサー、モダンバレエのMark Morris Ballet Group、CUNY Hunter大学及び大学院、New York University (NYU)、St. Johns Universityなど実績ある教育機関から指名を受けて、幅広いジャンルでのNYのトップアーティスト達と働くプロフェッショナル・ピアニストとして活躍。

2016年8月にWillie Jones IIIとCorcoran Holtのトリオにて2枚目のCD「Wish Board」を発売。クラシックピアノの技術に裏打ちされた繊細で優美なレガートタッチとNYで磨いた積極的でグルーヴィなスタイルを兼ね備え、エネルギッシュかつ叙情的なピアノを聴かせる。

詳細は、<http://katmusic.exblog.jp>